

シアトル別院時報

32巻3月号

2013年度教化標語
眞実明に帰命せよ



阿弥陀仏と 釈迦牟尼仏

新井俊一師

浄土真宗の教えに始めてであった人の多くは、私たちが釈迦牟尼仏ではなくて阿弥陀仏を礼拝の対象としていることに驚かれるようです。それで今回は、このお二人の仏の関係について、私の知識の範囲でお話ししようと思います。

歴史上、ブツダまたは仏と呼ばれる方はお釈迦様一人です。それ以外に自分は仏だとか、悟ったとか言う人がいたら、それは「まゆつばもの」です。お釈迦様は紀元前5世紀頃、今のネパールの南部で生まれられました。そして世間に苦しみがいっぱいあるのを見て、苦から解脱する道を知るべく出家されました。そして6年間の苦行とそのあとの深い瞑想の結果、苦を解決する道を悟られました。その悟りの内容をまとめられたのが、四諦八正道（したいはっしょうどう）です。「諦」（たい）とは眞実を意味します。第一は苦諦（くたい）、「人生は苦である」という眞実です。第二は集諦（じったい）、「苦の原因は私たちに巣くうさまざまな煩惱である」。第三は滅諦（めったい）、「煩惱を滅ぼすことによって苦から自由になれる」。第四は道諦（どうたい）、「煩惱を滅ぼすには八つの正しい道がある」。道諦の詳しいことはまたの機会にして、これが釈尊の悟りの基盤だと言われています。

これをもっと日常的な表現で表すと、「私たちは一生の間、富・権力・若さ・美など、表面的な現象を追いかけ、しなくてもよい努力を続けて、自分を苦しめている。これらが恒常的な実体のないものであると悟り、他人のものを妬まず、自分に余っている物があれば足りない人に分け与え、他人の苦しみを自分の苦しみとし、自分の喜びを他者とも共有するような生活をすれば、自他共に苦を離れた平安な人生を送ることができる。またそのような生活を送れば、来世にはいのち輝く世界に生まれられる」というようになるでしょう。

しかし煩惱を滅ぼすことは容易ではありません。釈尊のような勝れた指導者がおられて始めてこのような仏道が可能になる



3月の予定

- 3日 10時 家族法要
10時45分 日本語プログラム
- 10日 10時 家族法要
10時45分 日本語プログラム
- 11日 7時半 東日本大震災三回忌法要
- 17日 10時 春のお彼岸法要
10時45分 日本語プログラム
- 23日 4-7時半 サーモン・ディナー
- 24日 10時 家族法要
10時45分 日本語プログラム
- 31日 10時 家族法要
10時45分 日本語プログラム

- 7日 1時半 日系マナー法要
- 21日 1時半 日系マナー法要
- 26日 10時半 敬老ホーム法要

のです。そこで釈尊は、自分の教えが衰え、効力を失った時代のことを考えて、『大無量寿経』を説かれました。そこには阿弥陀仏の救いが書かれています。阿弥陀仏とは釈尊の智慧と慈悲そのものです。

仏といっても、ただ真理を悟ったと言って自己の中で完結しておれば、ほかの誰も苦から解脱できません。上に述べた四諦八正道は仏の智慧の内容ですが、釈尊はお悟りを開かれた後、自己満足をして一人で入滅しないで、それを世の迷える人々に伝え、より多くの人たちが仏の境地に立てるように人々を導こうと決心されました。それが仏の慈悲です。その釈尊を通じて顕わになった仏の智慧と慈悲は釈尊の発明ではなく、釈尊に先立つ久遠の昔からあったものであり、また釈尊を悟りに導いた原動力になったものです。その根源的な悟りを阿弥陀仏というのです。もともとインドの古典語であるサンスクリット語でアミターバ（無量の光＝智慧）、アミターユス（無量の命＝慈悲）と言われていたものを漢字で阿弥陀と書いたのです。だから私たちは阿弥陀仏を礼拝することにより釈尊の悟りを礼拝しています。そして南無阿弥陀仏（阿弥陀仏に帰依します）と称えることにより、仏の智慧と慈悲を自分の身に受けているのです。（次回に続く）。

先生の略歴：相愛大学名誉教授、文学博士（ハワイ大学）、浄土真宗本願寺派教師。

春のファンドレイズ「サーモン・ディナー」

別院では今年春のバザーの代わりに「サーモン・ディナー」があります。毎年のバザーがここ数年人気もなく準備も大変になっています。

「サーモン・ディナー」は3月23日 4時より7時半まで。ディナーは味噌汁、サラダ、漬物、野菜とご飯が付きます。デザート、ビール、ソーダも販売されます。サーモンが食べられない方にはポークが少し用意されます。チケットは15ドル（大人）7ドル（子供）。事務所に連絡して予約して下さい。

「サーモン・ディナー」はファンド・レイズだけでなく家族や友人との再会の機会でもあります。近年別院に来られていない方にも声をかけて下さい。

2012年別院スカラシップ

ハイスクールのシニア用、辻原スカラシップの申し込み用紙が用意されました。

大学生用、下紺まさる・みつますカラシップは3人まで。ナースプラクティショナー、メディカルドクター、レジスターナースの各卒業予定者。締め切りは4月8日2013年2時半に事務所まで。詳細は事務所を通して賀来シズまで。

会員部より

別院維持会会員の年度会費は70才以上は\$250（\$500ご夫妻）、70才以下は\$300（\$600ご夫妻）です。これは別院の維持に対しての最低額になります。分割でも払えます、事務所までお申し出下さい。

婦人会便り

会長のメッセージ

馬場ジャネット

西北部仏教徒大会：「私はどこに？」の題で、2月15-17日にタクイラで第66回仏教徒大会が白河仏教会主催で行われ、53名のシアトル婦人会会員が出席されました。シアトル婦人会は別院の収益の為にくじ引き用の2個のバスケットを寄附いたしました。日本食用の品々を寄附して頂いた方々に感謝致します。



教育クラス：アイリス・アイ・カード制作は藤野スー、中村ジューデスと清水ダーリンの指導で、11名が参加。スワージー・スカーフ作りは中西清子と田中リク子の指導で16名が参加。18名が川原律子の健康なお料理—おから、白和え、そしてしらすご飯—のクラスに参加。3月6日にぶらさがり女の子オーナメントのクラスが田中リク子の指導の下に予定されております。私達は技量のある教師に恵まれ、

歴史、新しい技、健康食料理等を教わることが出来ます。新しい事を学ぶことは、記憶を鋭く相続する為に良いと推薦されています。

春の基金募金：この時報が届く頃にはサーモン・デナーの切符が別院会員の手許に送られておる予定です。婦人会会員は家族やお友達、そしてコミュニティーに売って頂く様に余分に切符が送られます。婦人会はサーモン夕食に添えるよう、味噌汁とおつけものを準備します。それに加えて、ばら粥、おはぎ、饅頭/餅、お菓子類も作って売ります。Sign-up 用紙は後ほど掲示されます。詳細は3月3日の理事会で。

補聴器装置：過去2、3週間に新しく装置された補聴器を使用した会員方から沢山の賞賛を受けました。或る日曜日のサービスでは、補聴器の希望者が補聴器の数よりも多かった程でした。受話器（補聴器）は本堂の音響システムに直接に繋がっており、外部の妨害なしに冴えた音を伝達します。多くの会員が試聴されることを期待します。一会員が「補聴器無しだとスピーカーのお話がよく聞こえないけれど、補聴器の使用で一言も漏らさず聞こえる」と言いました。堀たかし家族が堀りリーの追憶として寄附された、この素晴らしい補聴器の使用を希望される方は、高島清子に連絡して下さい。

合掌 馬場ジャネット

婦人会寄附：英語欄を参照下さい。

3月行事予定

3日（日）	婦人会理事会、午前11時45分
17日（日）	婦人会役員会、午前11時45分
23日（土）	別院サーモン・デナー

通信書記（日）新保エツ提出

西北部仏教徒大会

氷の彫刻





BWA アイリス・アイ・クラス



BWA スカーフ・クラス

シアトル別院
東日本大震災三回忌法要
2013年3月11日7時半より

シアトル別院 ファンドレイズ

サーモン・ディナー

3月23日(土) 4時—7時半

ドア・プライズ、ラッフル景品、子供用ゲーム

サーモン、味噌汁、ご飯、サラダ、野菜、漬物

\$ 15.00

飲み物、デザートも販売

テークアウト、ドライブ・スルーもあります。
チケット予約は (296) 329-0800



